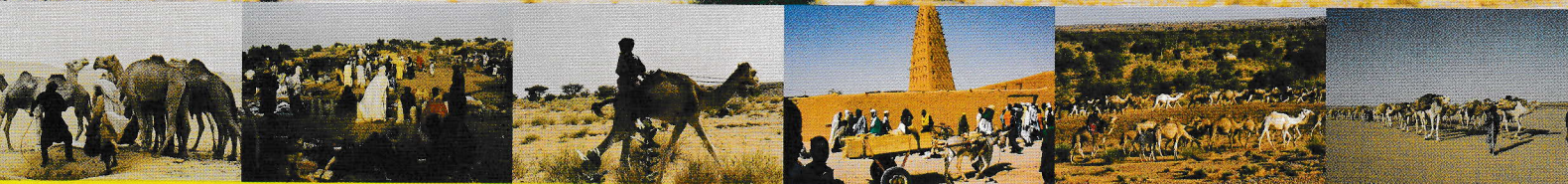
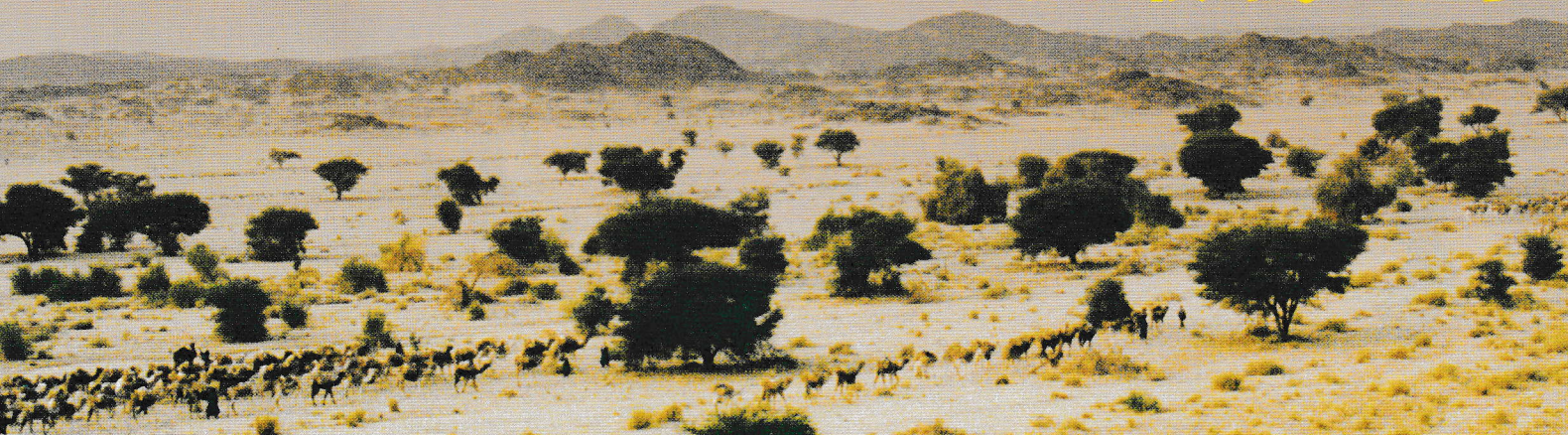


# CARAVAN TO THE FUTURE

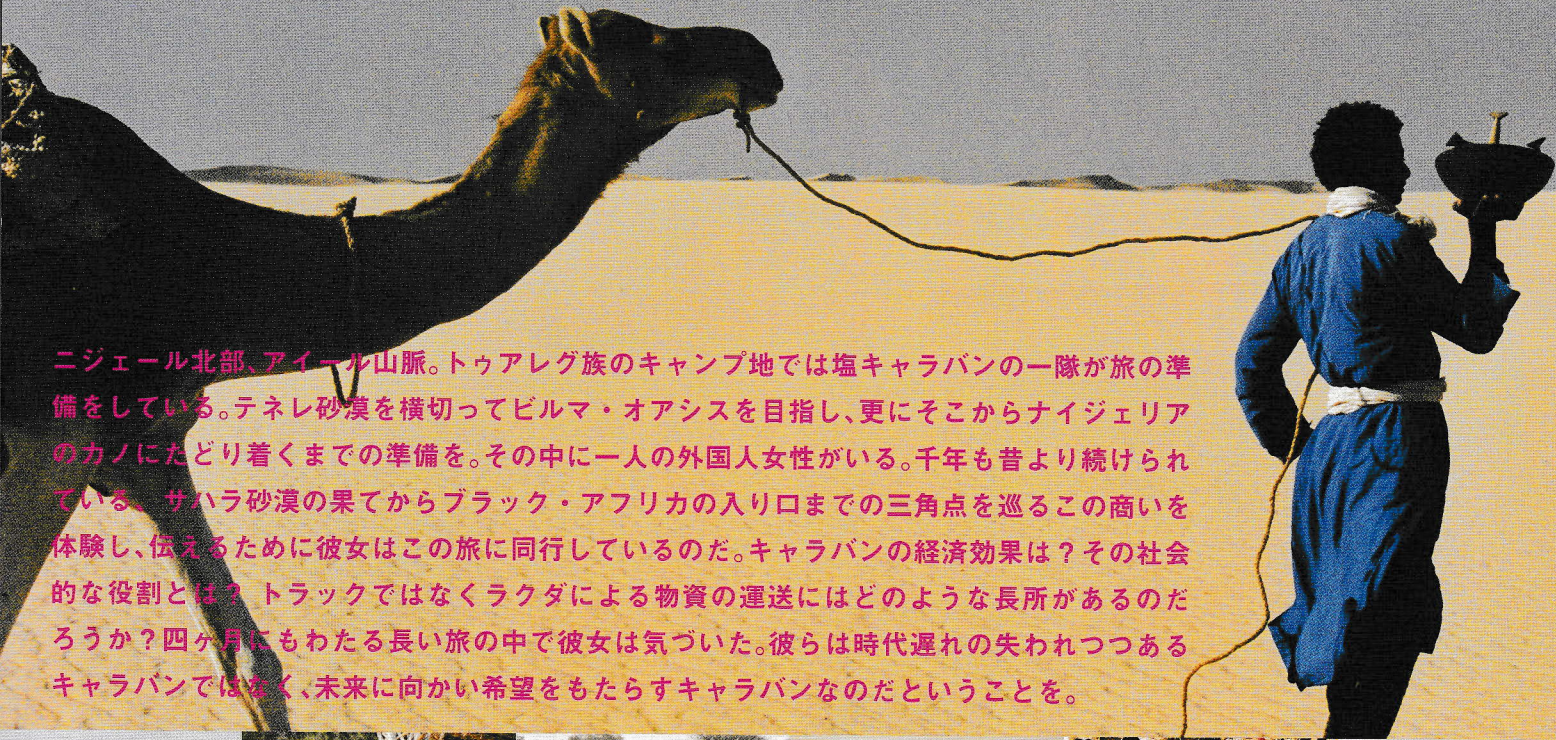
サハラと未来をつなぐ遊牧民たち



サハラ砂漠に生きる人を撮った！ 価値ある貴重なドキュメンタリー！

12/14(土)13時～ あーすぷらざ5Fにて上映 [大人400円] 監督アフタートーク付き

# ラクダにまたがりソーラーエネルギーを利用して 撮影した3000kmに及ぶ大冒険!



ニジェール北部、アイール山脈。トゥアレグ族のキャンプ地では塩キャラバンの一隊が旅の準備をしている。テネレ砂漠を横切ってビルマ・オアシスを目指し、更にそこからナイジェリアのカノにたどり着くまでの準備を。その中に一人の外国人女性がいる。千年も昔より続けられている、サハラ砂漠の果てからブラック・アフリカの入り口までの三角点を巡るこの商いを体験し、伝えるために彼女はこの旅に同行しているのだ。キャラバンの経済効果は？その社会的な役割とは？トラックではなくラクダによる物資の運送にはどのような長所があるのだろうか？四ヶ月にもわたる長い旅の中で彼女は気づいた。彼らは時代遅れの失われつつあるキャラバンではなく、未来に向かい希望をもたらすキャラバンなのだという。



## フランス・アフリカ・日本を舞台に活躍する ジャーナリストのデコト豊崎アリサの初監督作品。

「トゥアレグ族」。世界中の音楽ファンの注目を集めているトゥーマスト、タミクレスト、ティナリウェンといったトゥアレグのバンドの音楽に触れて、ニジェール、マリ、アルジェリアのサハラの遊牧民である彼らの存在を知ったという人は少なくないのではないでしょうか。本作は、フランス・アフリカ・日本を舞台に活躍するジャーナリストのデコト豊崎アリサが、ソーラーパネル発電エネルギーのみを利用して、トゥアレグ族の「塩キャラバン」の4ヶ月間にわたる過酷な旅に密着取材したドキュメンタリー映画です。古来より受け継がれているキャラバン隊の営みと、その自給自足の仕組みを撮影・記録しました。

デコト・豊崎アリサ | Alissa Descotes-Toyosaki  
ジャーナリスト | サハラ・エリキ主宰



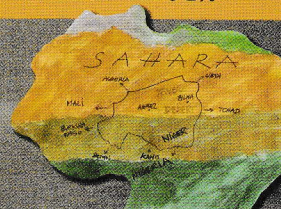
日本人の母とフランス人の父を持ち、二つの文化の間を旅しながら育ったデコト・豊崎アリサは、ジャーナリストという職を自らの生き方として定める事となった。2006年にトゥアレグ族の遊牧生活を支援するためにサハラ・エリキ協会を設立。以降、通訳またはキャラバンの一員として旅の日記を綴っている。彼女のジャーナリストとしての活動は2011年の東日本大震災を機に本格化する。

現在はパリ・東京・ニジェールという三つの拠点を行き来しながら、激動する現代と人類のサバイバルに焦点を合わせ、ニジェールのウラン鉱山などよりスケールの大きいルポルタージュに挑み、主にフランスや日本のメディアを通じて発信している(GEO MAGAZINE、DAYS JAPAN など)。

監督・撮影：デコト豊崎アリサ | Alissa Descotes-Toyosaki

製作：SAHARA-ELIKI | 編集：ヴァネッサ・ザムベルナルディ | Vanessa Zambarnardi | 日本語字幕編集：黒川貴(LUFTZUG)

(2016年/60分/フランス/フランス語・日本語字幕)



2019年12月14日(土) 上映13時~14時 + 監督トーク14時~15時

大人400円 小中学生100円 / 定員120名 / 当日先着 / 30分前開場 / 定員に達した場合は入場できません

神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーぷらざ 5F 映像ホール

住所：横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 アクセス：JR本郷台駅から徒歩3分

電話：045-896-2121 指定管理者：公益社団法人 青年海外協力協会